

+Affiliated with the International Association  
THE Y S MEN S CLUB OF TOKYO HACHIOJI  
Chartered October 30, 1994



〒192-0906  
東京都 八王子市北野町 575-22  
並木 真 TEL : 090-4314-3044  
Fax: 042-649-5276  
E-mail: m.namiki1020heartbeat@gmail.com

2024年12月

The Service Club of The YMCA

第354号

## 東京八王子ワイズメンズクラブ

会 長	並木 真	国際会長 A シャナヴァスカーン (インド) 主題「より良い世界のために、共に」
副会長	久保田 貞視	スローガン「立ち上がろう、そして輝こう」
書 記	小口 多津子	アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン (台湾) 主題「大きなインパクトを起こそう」
会 計	長谷川あや子	スローガン「大胆に、信念を持って奉仕しよう」
直前会長	花輪 宗命	東日本区理事 山田 公平 (宇都宮) 主題「ワイズの方向性を見極める」
担当主事	菅野 牧夫	スローガン「ユースエンパワーメントをYMCAと共に」
ブリテン	山本英次 大久保重子	あずさ部部長 ピーター・マウントフォード (甲府) 主題「めあて 望み」
		八王子クラブ会長 並木 真 主題「協働と共感」

### 2024年12月例会プログラム クリスマス例会

日時: 2024年12月14日(土) 17:00~20:00  
会場: 大学セミナーハウス 交友館及び多目的室  
担当: 並木(信)、大久保、菅野、山本

#### 第一部 クリスマス例会(交友館セミナー室B)

- 司会: 並木信一 奏楽: 阿部智世(バイオリン)
- ・開会点鐘 会長 並木 真
  - ・前奏
  - ・讃美歌 95番(わが心は あまつ神を)
  - ・聖書 新約聖書ヨハネによる福音書1章1~5節・14節
  - ・メッセージ 「暗き世を照らす光」  
日本基督教団 飯島 隆輔 牧師
  - ・祈祷
  - ・讃美歌 114番(天なる神にこほ) 一同
  - ・後奏・沈黙
  - ・報告・連絡事項 会長・各委員
  - ・閉会点鐘 会長 並木 真

#### 第二部 懇親の夕べ(本館多目的ホール)

- 司会: 菅野牧夫
- ・開会の挨拶 会長 並木 真
  - ・ゲスト・ビジター紹介 会長 並木 真
  - ・乾杯 茂木 稔さん
  - ・会食 (お弁当)
  - ☆ ピアノ・バイオリン演奏  
ピ ア ノ 永町 匡世さん  
バイオリン 阿部 智世さん
  - ☆ “みんなで歌おう”
  - ・ショートスピーチ
  - ・ハッピーバースデー (メンバーにはいれない)
  - ・スマイル (多摩いのちの電話のために)
  - ・閉会の挨拶 会長 並木 真



#### 今月の聖句 (2024年12月)

(1~5節) 初 (はじめ) に言 (ことば) があつた。言は神と共にあつた。言は神であつた。この言は、初 (はじめ) に神と共にあつた万物 (ばんぶつ) は言によつて成 (な) った。言によらずに成つたものは何一つなかつた。言の内に成つたものは、命 (いのち) であつた。この命は人の光であつた。光は闇の中で輝いている。闇は光に勝たなかつた。  
(14節) 言は肉となつて、私たちの間に宿つた。私たちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であつて、恵みと真理とに満ちていた。  
新約聖書ヨハネによる福音書第1章

# 巻 頭 言

## 記念誌発行:

### 遅すぎた編集後記

ブリテン編集委員 山本英次

強烈な台風が通り過ぎたような一日でした。

10月26日の朝を迎えた私たちは台風の通り過ぎるのをただ待つのではなく、果敢に強風に立ち向かっていました。並木真会長を先頭に久保田実行委員長の指示のもとに全員が一段とよって来るべき台風に向かって突っ込んでゆきました。

30周年記念行事を自分たちの力で成し遂げる事ができるのか？ 私は心配しておりました。



しかし、久保田実行委員長の自信の溢れた言葉に背中を推され行事への取り組みを開始しました。

『記念誌の作成を山本さんにお願ひしましょう！』との言葉を聞き、啞然とし、動悸の高まるのをおさえられずにおりました。

「本当に出来るの？」皆さんの怪訝な視線が心臓めがけて飛び込んできたのを覚えております。

久保田さんがその心配を感じたのか『ブリテンの延長でいいんじゃない？』とのアドバイスをいただき、チョット視線をあげられました。

何とかやるのかな？と思いつながらも、まずは大事な原稿集め！

主賓クラスへの原稿依頼は会長と実行委員長にお任せして、届いた原稿の編集作業に入る事が出来たのは夏の終わりの頃でした。ワイズのトップに就くほどの方は、やる事が早い。忽ち主な原稿を纏める作業に入る事が出来たのも嬉しかったですね。

ブリテンで培った編集技術??を駆使して??大まかなレイアウトを作り皆様に見ていただいて一步一步進んで行くことに密かな喜びと共に出来つつある記念誌のアウトラインを想像出来るまでになって来ました。

表紙には迷いましたね。先輩クラブの周年誌を拝見するとそれは見事な出来栄で、少し自信を無くしつつあったのですが、その時に助け船を出してくださったのは、並木真会長でした。

若い視線と感性を求めていた私には救世主にみえました。高倉町珈琲店(毎日曜日にモーニングコーヒー)へお越し頂き、見本の記念誌を見ながらの検討会！はこれで一歩も二歩も前進できるぞ！と密かに喜んでおりました。

並木会長の全面的な改変の大ナタには少々驚きましたが、これが若い人の感性の素晴らしさなんだと己の老いに驚きながらも、刷新された記念誌に見惚れておりました。

編集にバタバタしている最中にも皆様からの原稿が届きます。30年の活動の歴史、メンバーの皆さんの30周年に寄せる想い、それぞれが長短の歴史がありながら八王子クラブへのひたむきな思いが溢れておりました。

改めて読み直しますと感動しますね！

「八王子の記念誌はよかったよ！」とお声を励みにして今後のワイズ人生の糧として行きましょ。

みなさん、お疲れ様でした。そしてご協力に心より感謝申し上げます。



皆さんのお陰です

## 「子ども食堂カフェ北野」

への寄付について\*

久保田佐和子メネット

今年度7月キックオフ例会では、花輪さんのご紹介で、卓話にお招きした「子ども食堂カフェ北野」の共同代表者奥野玉紀さんのお話を伺って、私は何か寄付が出来ないかと考えていました。設立30周年記念例会が終わった今、クリスマスを迎えますし何かお役に立てないかと思いい奥野さんに、どういふものを寄付させていただくのがいいかを伺いましたら……



食料品では、基本的に何でもいいが

- \*お米、缶詰類
- \*玉ねぎ、ジャガイモ、ニンジンなどの野菜
- \*お菓子類

\*調味料では、醤油、味噌など

\*台所の洗剤、ラップなど家庭で使うもの等とおっしゃっていました。

⇒尚、賞味期限があるものは一般的には2カ月の余裕があるものが多いと思います。

HP を見ますと、活動内容が載っております。このカフェには多方面の方々からのご寄付があるようですが、殆どが消耗品ですのでいくらあってもいいと思います。

またHPには活動内容が載っています。ここは単なる食堂だけでなく『食を通して子供を育てる活動』をされています。



\*平日朝は「北野あさごはん」開催(6:45~8:30) \*火・木曜日は放課後子供の居場所「ワーカフェ」開催。\*月曜日夕方はお惣菜配布 \*木曜日は「ホットカフェKITANO」開催で誰でも利用可 \*土曜日第1~第4\*駄菓子屋北野開店。\*子育て世帯対象のお弁当/食品配布会 \*地域のごみ拾い。\*不定期で料理イベントなど

\*八王子ワイズメンズクラブから11月の皆様のスマイルをこの「子ども食堂カフェ北野」へ寄付する事が承認されました。同時にご家庭にある寄付してもいいものがあれば、集会の時にご持参いただきたいとお願いしてあります。

機会を見て、クリスマス前に並木真会長とここを訪問し、お渡ししたいと思っています。

## 特別寄稿

### 東日本区 チーム・イノベーション答申と私たち

11月例会でお話させていただいたことを思い起こし、その概要、特に強調したいことを、以下のとおりまとめさせていただきます。東京八王子クラブの皆さんも、ぜひ夢を語り合い、将来像を共有し、その実現に、楽しみながら取り組んで行ってください。

田中博之

### 東日本区 チーム・イノベーション答申と今日のスピーチについて

東日本区の将来あるべき姿とそこに至るための各種の施策を提言すべく、東日本区 チーム・イノベーションが昨年9月に発足し、今年6月28日に山田理事に答申書を提出した。チームは、区内から若いメンバーの立候補を募り、東京八王子クラブの並木会長にも参加していただいた。



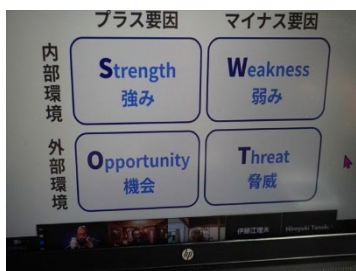
今日のお話しは、答申書の生の内容であり、東日本区の関連委員会あるいは案件によっては、広く各部、各区クラブを巻き込んで施策の採否を含めて検討を進め、具体的に施策が推進されて行くことを望んでいる。ただ、それらの検討結果を待たずに東京八王子を含め、各クラブの判断と熱意で推進できること、実施すべきことも多くある。

### 戦略 2032 とチーム・イノベーション答申

「戦略 2032」とは、ワイズメンズクラブ国際協会が 2022 に定めた 2032 年にワイズはこうなっていたいという将来像であって、スローガンは「親睦と地域社会への影響力における卓越性」で、また、今後の重点奉仕活動の領域として「健康」、「環境」、「教育」を掲げている。チーム・イノベーションの答申は、これを土台として、東日本区の現状、取り巻く環境、課題に対応した内容とした。また、当初想定していた 10 年後の将来像では手遅れになることが想定され、最長 5 年後をターゲットし、また、すぐに実

施すべき施策も含めた。答申の検討に際しては、ポジティブに理想を求め、東日本区の「強み」、「弱み」を認識(SWOT分析)

し、強みを伸ばし、弱みをカバーする施策を考えること、各クラブ、各メンバーが将来像実現の担い手になることも基本的なスタンスとした。



### 東日本区の現状と課題

- 東日本区の会員数は東日本区設立の1997年には1,246名だったのが、2014年には954名、2024年には635名に減少。最近の減少のペースのままでは、5年後に300名、10年後にはゼロになる。
- 1997年に存在していた57クラブの内、20クラブが解散または合併吸収。1998年以降に設立された25クラブの内11クラブが解散または合併吸収。クラブの解散を防ぐことが最も重要な課題のひとつである。
- クラブの平均会員数は、1997年は21.8名、2024年には12.8名
- 会員の平均年齢は、1997年は54.4歳、2024年は約68歳。このトレンドが続くと10年後には75歳を超えることが予想される。東京八王子は、2024年時点で76.2歳
- 最近の円安により、国際会費(スイスフラン建)、アジア太平洋地域会費(米ドル建)の負担が過去に比べ倍増している。

### 将来像とその実現に向けての施策(抜粋)

#### 【YMCAとの関係】

<将来像>

- ワイズメンズクラブとYMCAがベストパートナーとして、組織全体として、また、各拠点でも両者が対等の立場で支え合い、共に成長を続けている。

<主な施策>

- ワイズとYMCAの会合を各レベル(区、部、クラブ)で設置し、定期的に情報交換、協議の場を持つ。
- ワイズのないYMCA拠点へのワイズ設立、YMCAのないワイズ拠点へのYMCAの設置、オフィスレス/スタッフレスYMCAの解消について、ターゲット、期間を定め、区の総力を挙げてYMCAと協働して取り組む。是非、八王子にもYMCAの拠点を作る取り組みを。

#### 【ワイズメン/ウィメンの姿】

<将来像>

- すべてのメンバーがワイズメンズクラブの会員である

ことを誇りに思い、生き生きとして、楽しみながら活動を行っている。

<主な施策>

- 区(東西日本区)のキャッチフレーズロゴを制定し、一体感を醸成する。
- ワイズの理念、活動・事業内容をマスコミを含め、外部にPRし、ワイズの認知度、社会的ステイタスを高める。八王子や北野の駅前に看板、公園にベンチ等の設置も考えられる。

#### 【組織】

<将来像>

- クラブ、部、区の運営が、サービスレベル、活動内容を維持・向上しつつ、効率良く、全体としての負担が少なく行われている。

<主な施策>

- クラブの合併、再編成に関するガイドラインを定め、区として積極的に推進、支援する。
- 部の合併、再編成を区のプロジェクトとして実施する。部の廃止も選択肢とする。
- 東西日本区の合併も視野に入れ、両区が共同、分担してできることを実施していく。

#### 【活動事業】

<将来像>

- 区としてのフラッグシッププロジェクト(重点プロジェクト)が各クラブ、各部の参画、協力によって活発に展開されている。
- YMCA、西日本区、他の奉仕団体との協力関係、協働が進んでいる。
- 外部も対象とした収益事業が行われている。

<主な施策>

- 「環境」を区のフラッグシッププロジェクトとし、ワイズユースクラブ、ワイズメネットクラブにも参加を呼び掛ける。
- 他奉仕団体との間で、全国レベルで包括的な協力関係を構築し、各クラブ、各部レベルでの具体的な協力関係を推進していく。八王子でもぜひライオンズクラブ等との連携、協働の検討を。

#### 【ユース】

<将来像>

- ユースの成長を支援する活動が活発に行われており、それによって、私たち自身も元気になっている。

<主な施策>

- ユース、ワイズ、YMCAが一体となって取り組める共通プロジェクトを各レベルで実施する。
- 都市Yのユースリーダー/OB、学Yとの接点作りを進める。
- 国内/国際にiGo(インターン制度)を開始する。

- 東日本ワイズユースクラブを早急に設立する。

### 【会員増強】

#### <将来像>

- 各クラブで毎年10%以上の会員数が増えていて、5年後には、東日本区全体で会員数が50%以上増えている。
- 全てのクラブの会員数が15名以上である。少人数クラブは、スポンサークラブ/近隣クラブ/府/区が支援を行い、必要あれば合併、再編成を行う。

#### <主な施策>

- 各クラブが中長期的会員増強目標、施策、進捗状況を提出し、目標達成に向けて、部、区としてアドバイス、支援を行う。
- 各クラブで35人のチームを作り、チーム毎に年間1名の入会者を目指す。東京八王子では現在の班制が活かせる。
- エクステンションの推進。八王子に新クラブを。

IYC(International Youth Convocation)参加者帰国報告会  
今年度のIYCには、世界各地から集まったユース世代の人たちが、中東にあるアラブ首長国連邦のドバイで行われました。東日本区からは2名の大学生(中央大学の岩崎さんと慶応大学の下山さん)が参加されました。二人とも昨年のAYC(Asia Youth Convocation)にも参加した学生で、来年8月13日に熊本で行われるワイズメンズクラブアジア太平洋地域大会の前後で行われるユースコンボケーションにも企画側として加わることを目指します。この二人の報告会を12月19日20時30分から行う予定です。関心ある方はぜひZoomでご参加ください。トピック:IYC 報告会 時刻:2024年12月19日08:30PM 大阪、札幌、東京 参加Zoomミーティング  
<https://us06web.zoom.us/j/81043294255?pwd=srYQGFUj1aZE6rmTJ4gyiqYwah3Na.1>ミーティングID: 81043294255 パスワード:274240

### 2025 年在京ワイズ合同新年会開催のお知らせ 記

日時:2025年1月11日(土曜日)13:30~16:30

会場:東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター  
YMCA ホールおよびカフェテリア室

会費:5000円

TEL03-3615-5565

(地下鉄東西線・東陽町駅2番出口、徒歩7分)

## 中央大学 白門祭特集

今日は久しぶりに白門祭でお会いし20年前の感覚が戻ってきた感じです。ひつじぐもと東京八王子ワイズメンズクラブのお付き合いはすでに20年以上前から継続していることに改めて感慨を覚えました。当方は全然変わっていないのですが長い間クラブのひつじぐも担当の中塚君や橋本ワイズは天国にいき、その他にも当時アテンドしていた調さんや多河さんは連絡しても返事が来ずクラブのメンバーは大分減少してしまいました。それでも現在も残っているひつじぐもの学生との交流は楽しいですし、卒業生が社会で活躍しているのをFACE BOOK等で拝見し、頼もしく感じています。白門祭での写真、添付します。逆光で顔が暗くなってしまうかもしれませんが悪しからず。今後ともよろしくお願いたします。久保田貞視



八王子校舎

## 中央大学 白門祭訪問記

稲葉恵子

秋らしい爽やかな日、花輪さん小口さんと白門祭に行ってきた。

約束の30分も早く多摩都市モルールの中央大学駅に着いたのですが、改札口前には委員長の青山さん藤原さんが出迎えて下さいました。

多摩キャンパスは多摩丘陵に広がる自然にあふれた緑豊かな広大な敷地に数棟の校舎があり、1万人の学生が学んでいるとの事です。

今の学内には生協、レストラン、カフェ、郵便局、コンビニ等の施設が整備されていて、半世紀前に学生だった頃との違いにただただ驚きでした。

国際ボランティアサークル『ひつじくも』の活動詳細について、藤原さん、青山さんから説明して下さいました。ひつじくもの皆さんは各グループに分かれて活動されていて、藤原さんは企画係で15名ほどの会員の方々も活動をされているそうです。

今年度発足した企画係は川口市協働推進課の協力の元、子供を対象に多文化共生イベントを川口市イオンモールにて開催し、地元のベトナム 韓国等5か国以上の子供たち目標500名のところ、700名もの参加者を集めた大盛況に終わったそうです。

2025年2月には川口市イオンモールのブースを数か所お借りして、大々的に多文化共生交流を計画されているようです。

日頃、東京八王子ワイズメンズクラブのいろいろなイベントに協力して頂いているひつじくもの皆さんの素晴らしいサークル活動に感動致し、いつも一緒にボランティア活動をして下さっているひつじくもの方々を誇りに思います。

ひつじくもの出店で久しぶりに頂いた綿あめも忘れられないです。

若い学生の方々と交流はエネルギー頂き、青春時代を思い出す楽しい一日でした。

ひつじくもの皆さまありがとうございました。



## 白門祭の報告

ひつじくも 2年 石原島侑名

今年の白門祭では、ひつじくもの”ひつじ”にちなんで、ひつじのふわふわ感を連想させるようなわたあめの販売を行いました。かわいらしいポップカラーをイメージした「ふわふわひつじドリーム」をテーマに、プレーン味、いちご味、ソーダ味の3種類を販売しました。

例年同様、今年の白門祭も準備日が1日と実施日が4日間の計5日間で行われ、ひつじくもは次期幹部も含めた35名が運営に参加しました。

準備日には、看板などの装飾と屋台製作とで分担をして作業を行いました。その中で、足りなくなったものの買い出しをみんなが積極的にしてくれたり、お客さんに楽しんでもらえるように装飾を工夫してくれたり、各自が全体のことを考えて進んで動いてくれたように感じています。

白門祭当日は、シフトに入った人を、お客さんへの呼びかけ担当、会計担当、調理担当の3つに役割を分けて営業を行いました。

呼びかけのおかまがりもあり、当日は沢山のお客さんがひつじくもの出店に足を運んでくださりました。シフトに入った人たちは明るくお客さんとコミュニケーションをとり、楽しく運営をすることができていました。もちろん4日間のうちには、レンタルした蓄電池が動かさない、飴が固まって機械が上手く稼働しないなどといった、様々な問題も発生しました。それでも、連絡を密にこって解決方法を探し出すことで柔軟に対応をすることができたのは、とても良かった点だと思っています。また、問題が発生していないときも、その日の終わりに各自が気づいたことや良かったことを全体の連絡網に流すなど、情報共有もよくできていたように思います。

ひつじくもの多くの方が参加してくれたものの、昨年度よりも人手が足りていない中での営業はとても大変でした。しかし、そのような中でも、みんなが分担された仕事を丁寧にこなし、どうやったらより良くなるかを考えて動いてくれたので、大きな問題もなく、楽しく終わることができたのだと思っています。



## ひつじぐも便り

### 1年間を振り返って

#### ひつじぐも3年 折原美結

こんにちは。中央大学総合政策学部3年、ワイズ系の折原美結です。まず初めに、今月で代替わりとなり、来月からは法学部2年の石原島侖名がワイズ係長を務めます。どうぞよろしくお願ひいたします。そこで今回はこの1年間を振り返った感想と次の幹部の紹介をさせていただきますと思います。

今年度、ひつじぐもでは様々な変化がありました。新しく企画係という学生が主体となって新しい活動を企画する係が出来ました。企画の実現に向けて多くの方に協力いただき、10月26日にはイオンモール川口で川口市協働推進課の方の協力を得て、子どもを対象にした多文化共生イベントを開催することが出来ました。また、今年度の新入生歓迎オリエンテーションでは、サークル室の開放を行い、新入生と在校生だけでなく、在校生同士も交流を深める場となりました。さらに、学生間の交流を増やすことを目的に昨年度末に作られたレク系の活動が増えました。食事会だけでなく、今年度は運動会や箱根での合宿も企画されました。

ワイズ係として、この1年間を振り返ってみると、八王子ワイズメンズクラブ創立30周年記念例会に参加できたことがとても印象に残っています。30年の歴史の中にひつじぐもして携わることが出来て、とてもうれしく思いました。また、毎月の定例会は、どのゲストスピーカーのお話でも勉強になりました。特に、7月の奥野玉紀さんの子ども食堂のお話が印象に残っており、その感想をひつじぐもの活動報告として、白羊会の方々に送ったところ、白羊会の方々がかなり反応をいただき、好評だったと担当の学生から教えてもらいました。これからも私たちワイズ係が感想を発信することで、八王子ワイズメンズクラブの皆様と白羊会、ひつじぐもがより繋がりを深められればと思っています。

ここまで、1年間を振り返りましたが、ここからは次の1年間を作っていく次の幹部を紹介したいと思います。次期委員長は法学部の榊田君、副委員長が法学部の石原島さん、経済学部の高橋君、文学部の風間さんです。今年度においても皆積極的に活動に参加しており、ひつじぐもの活動内容が増えて忙しい中、沢山3年生を助けてくれた頼もしい4人です。来月からこのメンバーが引っ張っていくこととなり、代替わりとなりますが、これからもより八王子ワイズメンズクラブの皆様との絆を深めていくよう、今後ともどうぞひつじぐもをよろしくお願ひいたします。

## わくビレだより

高尾わくわくビレッジ館長 菅野牧夫

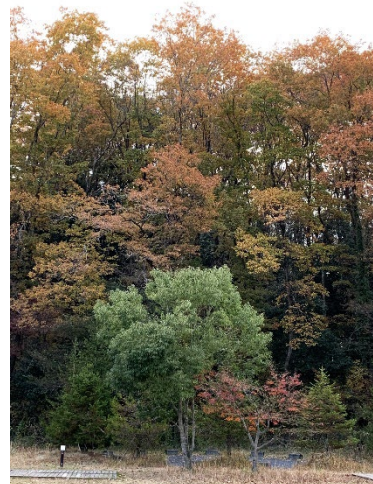
今年は夏から急に冬に代わってきたことが原因か、紅葉があまりきれいに色づかぬいで枯れてしまったように感じます。しかしながら、四季を感じながら仕事ができることは幸せに思います。

11月27日に、3期目の運営獲得に向けた重要な一歩として、東京都への提案書を無事提出いたしました。この提案書は、館の過去の実績、地域への貢献、そして未来への展望を盛り込んだ内容であり、チーム全員が一丸となって準備を進めた成果です。今後のヒアリングに向けて万全の準備を進めてまいります。

11月10日には地域との連携を深めるイベント「わくわくフェスティバル」も開催し、1,000人を超える来館者をお迎えしました。このイベントでは、多様なプログラムを通じて地域の皆さまに喜んでいただくとともに、館の魅力を発信する場として大変意義あるものとなりました。ボランティアや地域の団体などの協力のもと、参加者にとって多くの笑顔に触れる機会にもなりました。

11月29日には、宿泊利用者を対象とした第1回懇談会を実施し、3団体のお客様から直接お声を伺う貴重な時間をいただきました。利用者からの率直なご意見には改善点も多く含まれており、これを真摯に受け止め、今後のサービス向上に繋げていく考えです。

12月には、2回目の利用者懇談会を予定しており6団体が参加をすることになっています。利用者のニーズを深く理解する機会にしたいと考えています。また、東京都からの提案書についてのヒアリングも控えており、館の強みとビジョンをしっかりと伝える場として考えています。館の未来を見据えた重要な局面に立つ中で、引き続き最善を尽くしてまいります。結果は1月になります。皆様にいい結果をご報告できればと思っています。



今年の紅葉はイマイチです

## 東京YMCA 近況報告

### 菅野牧夫

- 9月21日～22日に石川県能登地方を襲った記録的豪雨の被災者支援のため、全国YMCAが連携して輪島市町野町にボランティアを派遣している。11月末までに全国YMCAで延べ175名(内東京YMCAの学生ボランティア、スタッフは37名)が、泥かきや物資の仕分けなどの支援活動に従事した。また東京YMCAでは11月2日～4日に輪島市、七尾市、穴水町、志賀町の小学生14名を招待し、「のど未来キャンプ」を国立能登青少年交流の家で実施した。
- 10月26日、横浜YMCAと共催で「J.T.スウィフト主事&ミラー主事墓前礼拝」を横浜外国人墓地で行い、両YMCAの会員、職員OB、職員など13名が参加した。墓前礼拝の後は、懇親の時を持った。
- 「世界YMCA・YWCA合同祈禱週」に合わせ、東京YMCA、東京YWCA、在日本韓国YMCAの共催で、11月14日に「YMCA・YWCA合同祈禱週礼拝」を東京YWCAカフマンホールで開催し、約50名が出席した。堀光雄牧師(東京YMCA山中家族キャンプチャプレン)に「神様の愛によって」と題してメッセージをいただいた。席上献金37,492円は「能登半島豪雨YMCA緊急支援募金」に捧げられた。
- 11月15日～17日、「第23回日本YMCA大会」が「Link!～[私]、YMCA、世界、そして未来～」をテーマにYMCA東山荘で開催され、全国YMCAからユースボランティア、会員、職員など約215名(東京YMCAから21名)が参加し、オンラインでは94名が視聴した。基調講演、「世界YMCA VISION2030」の学び、全国YMCAの日本一自慢、会員表彰等のプログラムが持たれ、活気ある大会となった。梅原大毅氏(東京YMCA職員)を含むユースの実行委員10名が中心となり、準備と運営がなされた。

- 今後の主な行事予定  
・ソシアスフォーラム2024  
2025年2月1日  
会場:山手センター

横浜外人墓地



### 2024年11月第一例会 報告 書記・小口

日時:2024年11月9日(土)18:00～20:00

会場:北野事務所

出席(敬称略) A班:長谷川、稲葉、小口

B班:並木真、花輪、久保田、久保田佐和子、望月

C班:菅野、山本、大久保、並木信一、

ひつじくも:折原美結(3年)、本多有喜(4年)

ビジター(卓話者)田中博之(東京多摩スマイルクラブ) 以上15名

**卓話:**「東日本区 チーム・イノベーション 答申と私たち」  
元アジア太平洋地域会長、国際TOF委員会委員長、  
アジア太平洋地域財務委員会委員長 田中博之さん  
田中さんがチームリーダーを務められ、当クラブ並木会長もメンバーであった「東日本区 チーム・イノベーション」が今年6月に山田理事に答申を行った、東日本区の将来像とその実現のための施策の提言についての解説およびそれに基づく当クラブの今後の活動へのアドバイスについてお話しいただきました。

お話の内容は、P3-P5にかきつけて、「特別寄稿」としてご本人におまとめいただきましたので、ご参照ください。  
なお、答申の全文については、[ここ](#)をクリックしてください。

### クラブからの報告事項:

- 12月クリスマス例会について、(C班班長、並木信一さんから)  
日時:2024年12月14日(土)17:00～20:00  
場所:大学セミナーハウス交友館とホール  
プログラム:第1部:礼拝 第2部:会食とピアノ  
(永町さん)・バイオリン(阿部さん)演奏  
会費:メム2,500円、メネット・ビジター3,500円、  
ひつじくも500円  
◎出欠のまとめは各班で、11月26日までに班長より、会長、C班班長並木信一さんまで。
- 1月在京ワイズ合同新年会・会長より  
日時:2025年1月11日(土)13:30～16:30  
東京YMCA 東陽町センター 東京西クラブホスト
- 中大白門祭訪問・11月3日(日)久保田、ひつじくもOBの柳原さんに再会。  
5日(火)花輪、稲葉、小口の3人で訪問し、食堂で、両委員長(藤原君、青山君)にひつじくも活動の近況の説明を聞きました。ワイズの今年度のユースアクションに応募して、資金を頂いたので、川口市での多文化共生をテーマに地域と子供達への交流プログラムを実行している。川口市市役所の応援で、川口イオンモールの広場を提供されたので、10月26日にその会場で、沢山の川口市に居留している



クルド人の子供達と地域の子も達を繋げる企画を実施した。今後は2月に計画予定。

最後に、今年11月からの新委員長の榊田さん、新ワイズ係の石原島怜名さんを紹介されました。

- ③ 「子ども食堂カフェ北野」への寄付のお願い  
・・・久保田佐和子さん

7月卓話者の奥野玉紀さん主催の子ども食堂への、クラブからの支援としての寄付について。

- ⑤ ハッピーバースデー 山本英次さん、花輪豊子さん

- ⑥ スマイル・・・12,500円

- ⑦ 30周年記念会の会計報告書が、会計長谷川さんから。

- ⑧ お食事会(北野駅前たのしや)記念会の打ち上げ  
・・・8時終了 以上

## 11月例会の写真から



卓話者 田中博之さん



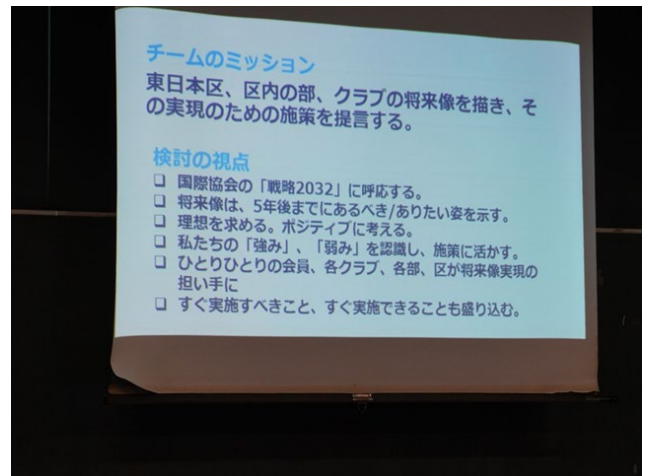
クリスマスの後には年の暮れ、その後には謹賀新年  
良いお年をお迎えください

## 12月お誕生の方

メンバーに対象者はいらっしゃいません！

## 先月の例会ポイント (11月)

在籍	12名	切手	0g 計 45g
メン	10名	現金	0円
メーキャップ	0名	累計	0円
出席率	83%	スマイル	12,500円
メネット	1名	累計	34,500円
ゲスト	0名	オークション	0円
ビジター	1名	累計	0円
ひつじぐも	2名		



卓話から：私たちの将来像は？



並木会長挨拶